



第35回福祉を考える集会

「半径数メートルの世界」

～暮らしやすい地域とは？

29.2.18(土)開催

意見シートのまとめ

※項目間でNoを統一してあります。
Noが同じ場合は、同じ方からのご意見です。

問2 性別

No	男	女	未記入
1		1	
2		1	
3	1		
4		1	
5	1		
6		1	
7		1	
8		1	
9		1	
10		1	
11		1	
12	1		
13	1		
14		1	
15	1		
16		1	
17		1	
18		1	
19		1	
20		1	
21		1	
22		1	
23		1	
24		1	
25		1	
26	1		
27	1		
28		1	
29	1		
30		1	
31			1
32		1	
33		1	
34		1	
35		1	
36	1		
37	1		
38		1	
39	1		
40		1	
41		1	
42		1	
43		1	
44	1		

No	男	女	未記入
45		1	
46	1		
47	1		
48	1		
49		1	
50		1	
51		1	
52	1		
53	1		
54	1		
55	1		
56		1	
57	1		
58		1	
59		1	
60	1		
61		1	
62		1	
63	1		
64		1	
65		1	
66		1	
67	1		
68	1		
69		1	
70	1		
71	1		
合計	26	44	1

問3 年齢

No	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代以上	未記入
1						1				
2							1			
3		1								
4						1				
5						1				
6					1					
7								1		
8							1			
9						1				
10						1				
11		1								
12		1								
13			1							
14						1				
15					1					
16							1			
17						1				
18						1				
19							1			
20								1		
21								1		
22							1			
23			1							
24					1					
25						1				
26							1			
27							1			
28										1
29						1				
30					1					
31						1				
32				1						
33					1					
34						1				
35				1						
36						1				
37							1			
38						1				
39							1			
40					1					
41					1					
42					1					
43								1		
44						1				

問3 年齢

No	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代以上	未記入
45						1				
46						1				
47						1				
48						1				
49						1				
50							1			
51					1					
52						1				
53					1					
54						1				
55						1				
56							1			
57					1					
58						1				
59		1								
60							1			
61					1					
62								1		
63									1	
64					1					
65			1							
66					1					
67						1				
68			1							
69						1				
70					1					
71					1					
合計	0	4	4	2	16	26	12	5	1	1

問4 現在のお住まいはどんなところですか？
問5 現在ご近所の方と、どの程度の付き合いがありますか？

問 4				
No	①一戸建て	②マンション、アパート	③団地	④その他
1	1			
2	1			
3		1		
4	1			
5	1			
6				1
7	1			
8	1			
9	1			
10	1			
11	1			
12	1			
13	1			
14	1			
15	1			
16	1			
17	1			
18	1			
19	1			
20	1			
21	1			
22	1			
23	1			
24	1			
25	1			
26	1			
27	1			
28	1			
29	1			
30	1			
31		1		
32	1			
33	1			
34	1			
35	1			
36	1			
37	1			
38				
39	1			
40	1			
41	1			

問 5					
No	①よく付き合っている	②ある程度付き合っている	③あまり付き合っていない	④まったく付き合っていない	⑤わからない
1	1				
2	1				
3				1	
4		1			
5		1			
6		1			
7	1				
8	1				
9	1				
10		1			
11			1		
12			1		
13		1			
14		1			
15		1			
16		1			
17		1			
18	1				
19	1				
20		1			
21	1				
22		1			
23			1		
24					
25		1			
26	1				
27	1				
28		1			
29	1				
30		1			
31			1		
32		1			
33					
34	1				
35			1		
36					
37		1			
38		1			
39		1			
40	1				
41	1				

問4 現在のお住まいはどんなところですか？

問5 現在ご近所の方と、どの程度の付き合いがありますか？

問4				
No	①一戸建て	②マンション、アパート	③団地	④その他
42	1			
43			1	
44	1			
45	1			
46	1			
47	1			
48	1			
49	1			
50	1			
51	1			
52	1			
53	1			
54	1			
55	1			
56	1			
57	1			
58	1			
59		1		
60	1			
61	1			
62	1			
63	1			
64	1			
65	1			
66	1			
67	1			
68	1			
69	1			
70	1			
71	1			
合計	65	3	1	1

問5					
No	①よく付き合っている	②ある程度付き合っている	③あまり付き合っていない	④まったく付き合っていない	⑤わからない
42		1			
43		1			
44			1		
45		1			
46	1				
47	1				
48			1		
49	1				
50		1			
51		1			
52	1				
53		1			
54	1				
55	1				
56	1				
57	1				
58	1				
59			1		
60	1				
61	1				
62	1				
63	1				
64	1				
65	1				
66		1			
67	1				
68		1			
69			1		
70		1			
71			1		
合計	30	27	10	1	

問6 ご近所の方と、どんな付き合い方をしていますか？（複数回答可）

No	①声に出して挨拶をする	②話しかけられたら話をする	③すれ違った時に会釈をする	④回覧板のやりとりをする	⑤自治会、組合などの活動に参加する	⑥果物、野菜などのおすそ分けをする	⑦積極的に話しかけ立ち話をする	⑧調味料を貸し借りする	⑨特に何もしない	⑩その他
1	1	1		1	1	1	1			
2	1	1	1	1	1	1	1			
3			1							
4	1		1				1			
5	1	1	1	1	1		1			
6	1	1	1	1	1	1	1			
7	1			1	1	1				
8	1					1	1			
9	1	1		1	1	1	1			
10	1		1	1	1					
11		1	1	1		1				一人暮らしの方のごみ出しについて 私の地域では、ごみ出しの日に一人暮らしの人の家に電話をしてごみ出しの日をお知らせしたり、代わりにゴミを出している
12		1							1	
13		1	1							
14	1	1	1	1	1					
15		1		1	1					
16	1			1	1	1				
17	1		1	1	1	1	1			
18	1	1	1	1	1	1	1			
19	1					1				
20		1								
21	1	1	1	1	1	1	1			
22	1	1	1	1	1	1				
23	1	1	1							
24			1		1					
25	1	1	1	1	1					
26	1				1					
27	1			1	1	1				
28	1	1	1	1	1					
29	1	1		1	1	1				
30	1			1		1				
31			1							
32	1	1	1	1	1	1	1			
33	1	1		1	1	1				
34	1			1	1	1	1			
35			1		1					
36	1			1	1					

問6 ご近所の方と、どんな付き合い方をしていますか？(複数回答可)

No	①声に出して挨拶をする	②話しかけられたら話をする	③すれ違った時に会釈をする	④回覧板のやりとりをする	⑤自治会、組合などの活動に参加する	⑥果物、野菜などのおすそ分けをする	⑦積極的に話しかけ立ち話をする	⑧調味料を貸し借りする	⑨特に何もしない	⑩その他
37	1									
38	1			1						
39	1				1					
40	1			1	1	1		1		
41	1	1		1	1	1	1			
42	1			1	1	1				
43	1			1	1	1				
44	1	1	1	1	1					
45	1			1	1	1				
46	1				1					
47	1	1		1	1	1				
48			1		1					近隣者には、自治会未加入者が多いが、大雪の際、周りの人が助けてくれたことあり。(雪で車が家に入れなかった)
49	1	1	1	1	1	1				
50	1			1	1	1	1			
51	1		1	1	1	1				
52	1		1		1	1				
53	1	1	1	1	1	1				
54	1			1	1	1	1			
55	1			1	1	1				
56	1			1	1	1	1			
57	1	1	1	1	1	1				
58	1	1		1	1	1		1		
59	1	1	1							
60	1	1	1		1		1			
61	1		1	1	1	1		1		
62	1				1	1				
63					1	1	1			
64	1	1	1	1	1	1	1			
65	1	1	1	1	1	1				
66	1	1	1	1	1	1				
67	1			1	1	1	1			
68	1			1	1					
69	1		1							
70	1	1	1	1	1	1				
71					1					
合計	59	33	35	48	56	43	20	3	1	2

問7 ご近所付き合いをしてきて良かったことはありますか？(複数回答可)

No	①ご近所トラブルが起こりにくくなった	②困ったことがあった時に助けてもらった	③野菜などのおすそ分けをしてもらった	④悩みを相談する仲間ができた	⑤安心して暮らせるようになった	⑥特になし	⑦その他
1	1	1		1	1		
2	1		1		1		
3						1	
4		1	1		1		
5				1	1		
6		1	1	1	1		
7		1	1		1		
8							
9	1	1	1	1	1		
10						1	
11						1	
12			1				
13		1					
14		1	1				
15		1	1				
16		1	1				
17		1		1	1		
18		1	1	1	1		
19			1	1			
20			1				
21		1	1	1	1		
22							気楽に話ができることが何より
23					1		
24							
25		1					
26	1		1	1	1		
27			1				雑談して楽しく意見交換
28	1				1		
29		1	1				
30		1	1	1	1		
31						1	
32		1					
33		1		1			
34					1		
35				1			
36		1					
37	1		1		1		
38		1	1				
39		1			1		
40		1	1	1	1		
41		1	1	1	1		
42		1		1			

問7 ご近所付き合いをしてきて良かったことはありますか？(複数回答可)

No	①ご近所トラブルが起こりにくくなった	②困ったことがあった時に助けてもらえた	③野菜などのおすそ分けをしてもらった	④悩みを相談する仲間ができた	⑤安心して暮らせるようになった	⑥特になし	⑦その他
43		1			1		
44						1	
45		1	1				
46	1	1	1	1	1		
47	1	1					もともとご近所トラブルはない。
48							自治会内で付き合いがよかった点はある。
49		1	1	1			
50		1	1				
51	1	1		1			
52			1		1		
53		1					
54		1		1			
55	1		1				
56		1	1	1			
57	1	1					
58		1					
59						1	
60					1		
61		1	1	1			
62		1	1		1		
63		1	1		1		
64	1	1	1	1	1		
65		1	1				
66		1	1		1		
67		1					
68			1				子供たちの面倒を見てくれる
69							
70	1	1					
71						1	
合計	13	43	35	22	27	7	5

問8 理想としては、ご近所の方とどのくらい親しく付き合いたいですか？

問9 現在ご自身が抱えている身近な生活課題はありますか？

問 8				
No	①親しく付き合いたい	②ある程度は付き合いたい	③あまり付き合いたくない	④分からない
1	1			
2	1	1 親しくお付き合いしていますが、相手を尊重する心が大切。		
3			1	
4	1			
5		1		
6	1			
7				
8				
9	1			
10	1			
11		1		
12		1		
13	1			
14		1		
15	1			
16		1		
17	1			
18	1			
19		1		
20	1			
21	1			
22	1			
23		1		
24		1		
25		1		
26	1			
27		1		
28	1			
29	1			
30		1		
31		1		
32		1		
33	1			
34	1			
35		1		
36		1		
37	1			

問 9				
No	①ごみ出し	②買い物	③交通手段	④その他
1				
2				今は大丈夫ですが、今後はどんなことが起こるか分かりません。常に考えています。
3				
4				
5				高齢世帯の自治会脱会
6				
7				
8				
9				
10				1
11				
12				
13				
14				
15				
16			1	
17				
18				もうすぐ①②③の課題が出てくると思います。
19				
20			1	
21				
22				
23				
24				
25				
26	1	1		
27				世間話が多い
28				
29				
30				
31				今はあんじゃあない
32				
33				今は特になし
34				特にありません
35				
36			1 老人	
37				

問8 理想としては、ご近所の方とどのくらい親しく付き合いたいですか？

問9 現在ご自身が抱えている身近な生活課題はありますか？

問 8				
No	①親しく付き合いたい	②ある程度は付き合いたい	③あまり付き合いたくない	④分からない
38	1			
39		1		
40	1			
41	1			
42		1		
43		1		
44		1		
45		1		
46	1			
47	1			
48		1		
49	1			
50	1			
51		1		
52		1		
53		1		
54	1			
55		1		
56	1			
57	1			
58	1			
59		1		
60	1			
61				
62	1			
63	1			
64	1			
65		1		
66		1		
67	1			
68		1		
69		1		
70		1		
71			1	
合計	35	32	2	

問 9				
No	①ごみ出し	②買い物	③交通手段	④その他
38				
39				
40	1			
41				
42				
43			1	
44				
45				特になし
46				
47				
48				介護が必要となった者がいる
49				
50				
51				
52				
53				特になし
54				
55				
56				
57				
58				
59				
60				一人暮らしの方が増えている
61				一人暮らしの方、老々介護の方
62			1	
63		1	1	
64				
65				
66				
67				
68				
69				
70				
71				特になし
合計	2	2	6	14

問10 基調説明、事例発表、地域福祉時事報告の感想をお書きください。①・②・③

No	①福祉懇談会からの課題とその取り組みから 【発表者】宮下風香氏	②「身近な生活課題」わしゃ達、お互いに何でも話しとるんな【発表者】北原紀子氏・山本安津子氏・宮下風香氏	③「障がい」「障がいがあったても町の中で生きていく」は今【発表者】小椋雅子氏
1	いろいろな課題が見えてきて、生の声が聞かれるといいと思う。	気の合う人がそばにいてくれてよかった。	親の子を思う気持ちから始まったことが、地域の人々に助けられ、少しでもいい方向に向かっていて良かった。その為にはすごい労力がいった。
2	良い課題を取り上げて良かったと思います。	近所が大切ということを楽しく表現してくれました。お互いを尊重していることが素晴らしい。	アンサンプルの活動と分り良かったです。ありがたい施設だと思います。私達もできることはしたいです。
3		ハード面よりもソフト面（というよりも自治？）の充実も大切だと感じました。	「親亡き後」という課題に向かって挑戦したこれまでがよく伝わりました。障がいがあるとうと自立して生きていくために私たちができることは何だろうと思いました。
4	ごみ出しの問題を通して、地域の状況が見えてきたことが大変興味深かった。ボランティアを活用することと、近所付き合いでも解決する両方が必要だと実感した。	この様な関係を築くには一朝一夕では難しいが、互いに信頼し合える関係のためには、馴れ合いではなく、互いに認め合うこと。認めるからこそオープンになれること。2人の関係だけではなく、地域の活動にも積極的に参加していることなど学べました。	職を持ち、住居があり、仲間が居てこそ自立して町の中で生きていけるという基本的なことを再確認できました。親亡き後も大丈夫ということが心に残りました。
5		分かり易く、又集会全体の流れの中でアクセントとなり良かったと思います。	親亡き後の想いと、実践をうかがえてよかったと思います。又、多くのグループホームのある松川町の地域性の素晴らしさを改めて感じました。
6	現在の課題が分かった。	お互いに支え合うことがすてきだ。ほっこりした。こんなふうに生きられたらいいな。	松川町にいて良かった。アンサンプルの存在意味が分かった。
7		昔からの風景、私たちの子どもころからの風景がよく表われ、懐かしかった。	アンサンプルがこの町にできてからの様々な苦労また成果などよくわかった。
9	これまでの流れが分かり易く話されていました。	お2人の会話が楽しくて、懐かしかったです。心を開くって大切だと思いました。	親御さん方が、子供の将来を思う信念が貫かれてここまで発展させたこと知り、感動しました。

問10 基調説明、事例発表、地域福祉時事報告の感想をお書きください。①・②・③

No	①福祉懇談会からの課題とその取り組みから 【発表者】宮下風香氏	②「身近な生活課題」わしゃ達、お互いに何でも話しとるんな【発表者】北原紀子氏・山本安津子氏・宮下風香氏	③「障がい」「障がいがあっても町の中で生きていく」は今【発表者】小椋雅子氏
10		一人暮らしになった時、つるさんかめさんのような仲のお付き合いができることは幸せだと思います。地域性もあるのかな。ちゃんと社会の勉強をしているからかも。	「親亡き後」うつの子を抱える我が家にとっても重たいテーマです。アンサンブルさんの取り組みを初めて知りました。親の愛に感動しました。
11	ごみ出しについて一人暮らしの高齢者の困っていること、調査から「分別はむずかしい」「気兼ねでお願いしづらい」などと現状を知ることができた。	●地域での助け合い ●定期的に合うことで気力をもらう。 ●長年のご近所づきあいの大切さ→お互いに助け合う（出かける時は必ずどこそこへ行くのか告げること・もしもの時のこと）	「障がいのある我が子たちだって町の中で生きていける道を」→知的障がいを負って生まれてきた子の親として、私たちはどんな人生を彼らに用意できるのか、どんな人生なら幸せと思えるのか。親と子が抱える悩みのこと。どのように町の中で安心して暮らしていけるのか考えること。障がいがある子ども、人、その家族も、周囲の人たちもまっすぐに受け止める。困った時には手伝う。それ以外は温かく見守ることの大切さ。
12	ごみ出しなどの生活課題は対策が必要であるし、誰が困っているかなど知ることが大切だと感じました。	地域での身近な交友関係は当たり前前にできることで、お互いの見守り活動に通じると感じました。	障がいを持つ方が自立できるような仕組みが整っており、良いところだと感じた。どの方も当たり前前に生活できることが理想だと思いました。
13	「支え愛」の声かけが大切だと改めて思いました。	つるさんかめさんようなお互いに分かり合える関係が大切だなと感じました。	
14		二人の関係が生きがいになっているのは理想だと思いました。	経緯から、詳細にわたっての話でよく分かってよかったです。今は身近にいませんが、考えさせられる問題でした。
15		特殊な例のような気がします。	
16	「支え愛の声かけ運動」はよい取り組みと思います。特に日頃の近所さんとの付き合いが大切だと思います。	一人暮らしになった時、信頼できる姉妹のような友達がいて幸せと思います。心配してくれる人がいると安心と思います。	親亡き後、町の中で自立した人生送ることができる施設があることは安心です。お父さんお母さんのご苦労が分かりました。

問10 基調説明、事例発表、地域福祉時事報告の感想をお書きください。①・②・③

No	①福祉懇談会からの課題とその取り組みから 【発表者】宮下風香氏	②「身近な生活課題」わしや達、お互いに何でも話しとるんな【発表者】北原紀子氏・山本安津子氏・宮下風香氏	③「障がい」「障がいがあっても町の中で生きていく」は今【発表者】小椋雅子氏
17	「支え愛の声がけ運動」地域の皆が声をかけ、身近な人がどうなっているかと気になるような環境を守っていききたい！！	身近な課題ですね。近頃は家族でも話しが減っている時に、年が近い人同士でも何でも話せて安心のできることは、まだまだ楽しく過ごせる良いことと思います。	障がいを持った方でないと分からない事はたくさんあると思いますが、いつ自分にも降りかかるか分からない事なので温かく接していきたいと思います。説明を聞いて、ご苦労が分かりました。
18	よく理解できました。	素晴らしい役者とナレーター。まさに“半径数メートルの世界”。私も早速できることから…。	“一人として同じ人がいない”…性格や人柄が異なるように障がいも同じ。互いにできることをしながら共生していくことが当たり前としたい。
19			親が亡くなった後のことをよく考えて素晴らしい活動をしていると思いました。
21	分かりやすく聞けました。	面白く聞けて、歳をとるにつれ、楽しく生きることを望みます。	障がいを持つ身を皆で知ってやるのが大切だし、話を聞いて思っても実際に家族でないと本当のことが難しい。
22		実に豊かな表現力で、寸劇の力を思い知りました。三人の表現力は隠れた才能です。お三方のおかげで生田のお二人の生活がスッと胸に入り、その生活がほのぼのと浮かんできました。いいな～と自分もその暮らしを少しでも取り込みたいと考えることができました。聞く側が笑いを持って受け止めている状況が集会のねらいでもあります。	できれば、今日の課題である近隣の中にどのように入っていったか、受け入れる住民側は何をしなければならぬかを丁寧に話していただけるとありがたかったです。アンサンブルの皆さんが、非常な努力をされて今があることがよくわかりました。
23		年齢に差があるにもかかわらず、毎日おしゃべりしているお二人すてきだなと思いました。互いの存在が無ければ、どんなに寂しい思いをされていたことか。介護保険等サービスでは埋められない部分をお互いに果たしていると思いました。	虐待や、子殺し・親殺しのニュースを見ると、何とかならなかったのかなと思ってしまいますが、小椋さんの話を聞いて、何とかしなくてはと思った方々の力、成果を知りました。障がいは不幸ではなかったと胸を張って言われたことがとても印象的でした。

問10 基調説明、事例発表、地域福祉時事報告の感想をお書きください。①・②・③

No	①福祉懇談会からの課題とその取り組みから 【発表者】宮下風香氏	②「身近な生活課題」わしや達、お互いに何でも話しとるんな【発表者】北原紀子氏・山本安津子氏・宮下風香氏	③「障がい」「障がいがあっても町の中で生きていく」は今【発表者】小椋雅子氏
24	分かりやすい口調でよかったです。	近所の関わりが、安心できる場所であること、気付きになることを改めて思いました。	毎日特に気にもしなく生活できることが当たり前と思っていました。話を聞き、松川町ならではの特性もあると思いました。地域とボランティアが根付いている住みやすい町になって行けばいいと思う。
25	今日の集会のポイントを具体的に話していただき、分かりやすかった。	とても温かい環境だと思います。近所の友人を大切にしたいと思いました。	今までのご苦労が大変よくわかり、頭が下がります。
26		郷里の生活の中での日常会話による寸劇は実に分かりやすく、一人暮らしの女性の事例が良かった。男性はどうなのかと感じる。	町の中で生きてきての発表、年数とともに充実した施設とともに頑張ってくださっている事の敬意を表したい。
28		この話の中で出てきた“できるだけでて行ってムダ話をするようにしている”サロンの原点はそこにあるのか…とハッと気付いた言葉でした。	アンサンプルの成り立ちがよくわかり、障がいがあってもこの町で仲間とともに、親亡き後も…しっかり自立して生きてゆけるのは素晴らしいことだと思います。私も障がいのある方の接し方を勉強できたらいいなと思いました。さりげない無関心で温かく接する。
29	ごみ出しでお困り、不安を抱えている実態を知り、今後もっと多くなる課題であり、町・自治会・組織による取り組みとなると思う。	お年寄りが身近な人と常に日常会話できることで、心のよりどころであり生きる喜びを感じる、生活する原点かもしれないですね！！	障がい者も働くことに喜びを感じている事と思う。「親亡き後も自立して生きる」これこそがアンサンプルの目指す取り組みだと知れたことは本当に良かった。 「障がいがあっても町の中で生きていく」→生きがいのある町になってほしいです。
30	ごみ出し、近所づきあい、障がい者と地域のつながり、認知症と様々な切り口で福祉を考えさせられた。	高齢者の一人暮らしでも、女同士で楽しく暮らせる（地域の方にも支えてもらいながら）事例をお聞きしたが、男性はなかなか難しいのでは？と感じた。	障がい者の「親亡き後」、親であれば誰も自分の子どもの行く末は心配。そのはかり知れない愛情からアンサンプルができた事、そして障がい者の自立につながったことそしてぜひ松川町で楽しく過ごしていただきたいし、そういう町でなければと感じた。

問10 基調説明、事例発表、地域福祉時事報告の感想をお書きください。①・②・③

No	①福祉懇談会からの課題とその取り組みから 【発表者】宮下風香氏	②「身近な生活課題」わしゃ達、お互いに何でも話しとるんな【発表者】北原紀子氏・山本安津子氏・宮下風香氏	③「障がい」「障がいがあっても町の中で生きていく」は今【発表者】小椋雅子氏
31			障がいがあっても地域であたりまえに暮らしていきたい。健常者の理解が大切（以前から言っている事だけど）
33	ごみ出しの問題、近所付き合いで解決できると素晴らしいと思いますが、新しい取り組みも期待です。	昔は隣近所にあたりまえのように見られた懐かしい光景が目に見えました。	アンサンブルの誕生から今日までの活動の様子、ご苦労など改めて知ることができました。
34			障がいがあっても自立して生きていけることは素晴らしいこと。親が思い残すことなく死を迎えられることは何よりのやすらぎではないか。
35	ごみ出しに困っている人が多く、サービスがあれば使いたい人が多くいることが分かった。ちょっとしたことで困りごとが改善できるといいと思います。	近所のいい関係ができています。ほのぼのとした劇が楽しかったです。気楽に話せる関係が身近にできるといいし、大切だと感じた。	地域で暮らすための歩み、大変なことがあったと思いますが、時間をかけ、自立した生活が送れるようになって、地域とのつながりの大切さを感じた。
39		近所の付き合いの良さが理解できた。	アンサンブル会の内容がよくわかりました。
40		素晴らしい役者さんに拍手！！ほのぼのとした老後生活、こんなお二人のような関係を作れるお付き合いを今から心がけていきたいな～と思いました。	私の妹も障がいがあり、グループホームでお世話になっています。授産所でお世話になり、少しお小遣いをいただきました。身内が障がいを持ち初めて気づくことがたくさんありました。又、支えていただける方の多さにも感謝です。
41	分かりやすいお話だった。	楽しく聞けた。お二人が理想的な関係だなあと思った。二人が三人もっとその輪を広げればいいのかと思う。	町に溶け込み、当たり前にな生活できることはとてもいいことだと思った。アンサンブルができた経緯等を知ることができて良かった。
42			親御さんの気持ちがとてもよく伝わりました。今になると大きな前進だったと思いますが、少しずつ努力された結果だと思います。

問10 基調説明、事例発表、地域福祉時事報告の感想をお書きください。①・②・③

No	①福祉懇談会からの課題とその取り組みから 【発表者】宮下風香氏	②「身近な生活課題」わしゃ達、お互いに何でも話しとるんな【発表者】北原紀子氏・山本安津子氏・宮下風香氏	③「障がい」「障がいがあっても町の中で生きていく」は今【発表者】小椋雅子氏
45	ごみの問題が多いと聞き、大変驚いた。何とかならないかなあ。	歳をとった時に何でも話することができるとお隣さんがいるととても良いと思った。心を許せる友、私も作りたいです。	アンサンブルのことは知っていたが、ここまで作り上げるご苦労が分かってよかった。
46	ごみ出しは大きな社会問題となっていて、TVでも取り上げられている。ごみ排出サービスをぜひ進めてもらいたい。	できるだけ出て行ってムダ話をする。大事なことだと感じる。	仲間と共に生きる。支援者、親亡き後、色々な苦勞を知りました。今後とも頑張ってもらいたいと強く感じました。
47	歩くのもやっとの一人暮らしのお年寄りのごみだし、今後の大きな課題。	生田地区独特の話のような気がする。名子の中心部ではこんな話は…？	
48	課題は数多くあると思います。ちいちゃな事からちょっとづつ解決を図っていくことが必要と思います。	昔の良き時代の復活を望みます。近所づきあいの必要性を感じました。	今後さらに発展することを望んでいます。
49	ごみ出し改善に向けて具体化していくことを望みます。	理想的な関係でうらやましく思いました。健康であるからこそその関係と思います。	実行力とバイタリティに感銘しました。
50			親がいなくなっても安心して暮らせる。11年過ぎた人は10,000円貯金。そのシステムはすごい。
51	ごみについて困っている方が多いことが分かり、問題解決に取り組んでいく	よくわかりすぎてその通りでした。分かりすぎて涙が出てきた。ずーっと前から仲良し。助け合っています。	改めて小椋さんはさすがだと思いました。生きる姿勢素晴らしいです。
52		おばあさんたちは仲良く話もできるが、おじいさんたちはなかなかそういう付き合いができないのでは？	施設は知っているが、内容は知らなかった。
53	高齢者のごみ出しは大変だと思います。自宅前に出しておけば回収してくれるようなシステムになればいいかなと思います。	ご近所づきあいのたいせつさ！生活の活力になっている。	障がい者の自立の大変さ、大切さ
56		印刷で表されるだけでなく、寸劇は面白かった。	時代と人々の要求をしっかりと受け止めて長い間努力されたことに感謝するばかりです。

問10 基調説明、事例発表、地域福祉時事報告の感想をお書きください。①・②・③

No	①福祉懇談会からの課題とその取り組みから 【発表者】宮下風香氏	②「身近な生活課題」わしゃ達、お互いに何でも話しとるんな【発表者】北原紀子氏・山本安津子氏・宮下風香氏	③「障がい」「障がいがあっても町の中で生きていく」は今 【発表者】小椋雅子氏
57	ごみ出しの問題は、行政の問題にとどまらず、地域の問題として考えていく必要があるように思われた。	昭和の時代の頃の話のようだった。	障がい者に対する理解が深まっていくような気がする。
58	ごみ出し問題を解決してほしい。昨年の福祉を考える集会からのつながりからの発展をますます望む。	よかったに。分かりやすかった。つるかめばあさんの話がこの集会そのものです。	自身の体験からの発表が自信につながっていると感じました。障がいの子を持っていたからこそその体験、実践で生き方に自信が満ち溢れていて素晴らしい。
59	福祉懇談会で出た意見をもとに、実際に調査を行ったことで、今まで知らなかった事実を知ることができ、それをもとにこれからどういった取り組みをしていけばよいか考えることのできるとても良い機会になったということを知った。また、福祉懇談会を開いて、意見を聞くことの大切さも知った。	隣り合い同士、日頃から会って、色々とお話をしていたおかげで緊急時も色々準備できたということを知り、隣り合い同士の関わり大きさ大切さを強く感じた。	障がいがあるからとさけるのではなく、障がいがあっても同じ人間で私たちと少しも変わらないということを改めて知るためにも、地域の行事等と一緒に参加したりすることが大切であると感じた。
60	「ごみ出し」	理想な姿	アンサンブル
64		うらやましい関係。こんなお友達をたくさん作っていききたい。	大変な苦勞をしたんですね。姪がお世話になっていますが、お話を聞いて安心しました。
70	分かりやすく、新たなボランティアの取り組みが期待される。	ほっとした。	目からうろこ。
71	近所づきあいは、親しく気のあった人がいればいいが、そうでない（つまり子供のころから遊び仲間ではない）私にとっては、むしろ苦痛である。飲み会などがあっても「共通の話題」が無いからほとんど話せない。	寸劇にしたのは良かったと思う。今後もこの様にどうすれば言いたいことが相手に伝わるか考えていきたい。内容も良かった。外の人には話さないというところがポイントだと思った。かなり練習したと思うが、息が合い、スムーズに進んだと思います。ごくろうさまでした。	人間、何をもって「幸せ」というのかはその人次第だ。小椋さんも障がい者の子どもが生まれたからこそ今があるのだ。私も障がい者にならなかつたら、福祉なんてものに眼を向けることもなく、人生を過ごしただろうと思われる。

問10 基調説明、事例発表、地域福祉時事報告の感想をお書きください。④・⑤・⑥

No	④「認知症」忘れても大丈夫！わたしたちは知ってるよ！ 【発表者】伊久間夢愛氏・萩原杏氏・佐藤綾花氏	⑤前回の集会からの進展・オレンジカフェ（認知症カフェ） 【発表者】米山兼敏氏	⑥前回の集会からの進展・薬剤師さんの関わり 【発表者】井澤隆氏
1	小さいうちから関わっていくことが大事なことだと思った。	もっと広く一般の人にも知られるようにしてほしい（私は知らなかったの。）	
2	小学生が講演会を開く機会を作ってくださり、この様にあったかい心を持ってくださること本当にうれしいことです。学校の姿勢が素晴らしい。	よくわかりました。	分かりやすく、ありがたかった。いろいろ考えて薬を出してくれていることが分かりました。
3	「自分になるかも」という意識は、線を引きがちな認知症を身近に思いやりを持って考えるために必要なことだと思いました。		
4	三人の小学生が認知症をしっかり受け止め、自分たちがどうしたらよいかというところまで考えていることに本当に感動しました。小学生高学年の子ども達の教育がいかに大切か！実感しました。	既存の対処や方法を含め、対応が具体的に整理され良かった。	薬の管理に薬剤師さんが関わることが具体的に良くわかった。重要性も理解できた。
5	子どもの素直な受け止め方を知ることができ良かった。知識から実践への取り組みが大切だと感じました。	動きが分かり良かった。	状況が分かりよかった。
6	心にしみた。	現状が分かった。	利用していけばいい。
7	子ども達の発表、とてもよく学んでいて心強く思った。		
9	子どもさんの純粋な気持ちがとても優しくて、こういう思いが広がっていくと素晴らしいと思いました。		
10	核家族が多いと子どもたちが認知症の方を見る機会が少ないと思うので、認知症を知る学習は大事だと思います。	広く知られる開かれた場所になることを願います。	

問10 基調説明、事例発表、地域福祉時事報告の感想をお書きください。④・⑤・⑥

N.o	④「認知症」忘れても大丈夫！わたしたちは知ってるよ！ 【発表者】伊久間夢愛氏・荻原杏氏・佐藤綾花氏	⑤前回の集会からの進展・オレンジカフェ（認知症カフェ） 【発表者】米山兼敏氏	⑥前回の集会からの進展・薬剤師さんの関わり 【発表者】井澤隆氏
11	●病気を知ってもらえることの大切さ。どのようなことができるのか。 ●自分が知っているからこそ、認知症についてどのように伝えられるのか ●認知症のことを知って、家族と話し合うことの大切さ	●認知症を知って、地域でできることを伸ばすこと、できない事を補うことの大切さ ●住み慣れた地域で自分らしく暮らしていけるように関わっていききたい	●薬を飲み忘れないようにカレンダーにして服薬できるように工夫すること ●在宅で行える薬剤師さんのサービスがあることを知ることができた
12	認知症について真剣に考えており、えらいなと感じた。子どもの時から高齢者や障がい者が抱える課題について学ぶことは理解につながると思った。	地域に出向いていくことは大切であるし、カフェを作ることとで情報を共有することができると感じました。	薬剤師の方が訪問をしてくれることは、在宅の方にとって大きいことであると思うし、もっと知ってもらう事が必要だと思いました。
13	普段仕事で認知症の方と関わっていますが、まだまだやれることがあるのかな？と思います。		
14	認知症について学習する機会を作ってくれたことが良かったと思いました。		
15	高齢者が身の回りにいないんですね		日頃からお世話になっております。ありがとうございます。
16	認知症について勉強して、認知症の人の接し方など自分たちでできることで支えて行ってもらいたいと思います。		分かりやすい説明で良かったです。
17	認知症はいずれ訪れる病。本人がパニックにならないように穏やかに「うんうん大丈夫」と声をかけて安心させてあげる！小学生から考える発表はとても考えてくれていいと思います。		在宅服薬支援について、老いていくと飲み忘れは出るもの。薬剤師の方が、自宅へ出向いてくれることは安心でき、素晴らしいと思います。
18	小学生からの理解は心強いです。	現状が良く理解できました。	

問10 基調説明、事例発表、地域福祉時事報告の感想をお書きください。④・⑤・⑥

No	④「認知症」忘れても大丈夫！わたしたちは知ってるよ！ 【発表者】伊久間夢愛氏・萩原杏氏・佐藤綾花氏	⑤前回の集会からの進展・オレンジカフェ（認知症カフェ） 【発表者】米山兼敏氏	⑥前回の集会からの進展・薬剤師さんの関わり 【発表者】井澤隆氏
19	子どもにその機会を作ることが必要。ありがたい。		
21	認知症は、学生の方々から、通学途中でも多く話しかけて	地域ぐるみで聞いて知る方が多くしたい	
22	子どもの発表は一生懸命で素直にやってくれるのでそのことがまず良い。大人もそのことを実行していこうと思う。		
23	柔軟な考えを持つ子どもだからこそその感想かなと思います。大人だと理屈は分かっているけど、じゃあどうしたらいいかまではなかなか…。オレンジカフェにもぜひ参加してほしいと思います。	オレンジカフェ楽しみです。	薬剤師さんという今まで少し影をひそめていた存在の方が実はスーパーマンだったという印象です。薬のことはすごく難しくて、悩んでいる方が多いと思います。薬がきちんと飲めるということで、全然違う生活になると思います。
24	小さなころから認知症について知っておくことが大人になって役立つと思います。		薬剤師さんがそばについてくれることで、薬について知識がない自分にとって相談、安心できる場所が一つ確保できた。
25	子どものころからの学習は、成長しても残ると思う。何より家庭の中で理解し合い、優しくできる。子どもとしても支えることができる。		
26	認知症の話を聞いている子供たちが関心を持てたことが素晴らしい。		
28	分かりやすくハキハキと発表されていて感心しました。できるだけ多くの子どもさんが、このような学習をして学んでほしいと願います。		
29	三人の発表から、今我々大人（元気な者）が親身になって考えていかなければならない事。		

問10 基調説明、事例発表、地域福祉時事報告の感想をお書きください。④・⑤・⑥

No	④「認知症」忘れても大丈夫！わたしたちは知ってるよ！ 【発表者】伊久間夢愛氏・荻原杏氏・佐藤綾花氏	⑤前回の集会からの進展・オレンジカフェ（認知症カフェ） 【発表者】米山兼敏氏	⑥前回の集会からの進展・薬剤師さんの関わり 【発表者】井澤隆氏
30	小学校から認知症の学習会をしている事はとても大切だと思います。ぜひ教育の中に取り入れて行っていただきたい。	認知症サポーターが、今年度300人近い人が受けたと聞き、感心しました。	“在宅服薬支援”知りませんでした。
31	私も知ってるよ。	知りませんでした。	
33	子どもさん達の素直な学び、気付きに嬉しく思いました。子ども達にも認知症というものを知ってもらう機会があり、素晴らしいことだと思います。	認知症が心配されるが、ご本人が自分は大丈夫と思っておられる方をオレンジカフェのような場へどう誘い出せるかが課題？	高齢の方が何種類も薬を飲まれていたら、薬局さんの方から一包化の声かけをしていたきたいと感じます。
34	小学生が認知症の勉強をしていることに驚いた。大切な事で、大変心強い思いがしました。		
35	優しい気持ちで関わってもらえたら、笑顔も増えると思います。病気のことを知ること、自然に関われると思います。	役場での予防事業について知ることができた。	薬を飲むことは大切なので、関わってもらえば薬の飲みにくさなど問題点が分かっていると思う。
40	子ども達の発表を聞いて「ドキッ」とすることが多々ありました。優しく接する！心がけなきゃいけない事ですね！！		薬剤師さんに分かりやすく丁寧に薬の説明をしていただくときちんと飲める気がする。
41	誰しもがなる可能性があり、なったとしても怖くないという気持ちでいられるというのはすてきな事だと思う。小学生はいい勉強ができたと思う。	オレンジチームを初めて知った。いろんな支援をしている人がいる。オレンジ推進員の活動が広まるといいと思う。	薬の管理は大切な事なので、プロが関わってくれるのはありがたいことだと思う。
42	児童のうちから世の中にはこういう人もいるんだと分かっていただくのは大事なことなんだと思いました。できることを私も協力したいと思いました。		

問10 基調説明、事例発表、地域福祉時事報告の感想をお書きください。④・⑤・⑥

No	④「認知症」忘れても大丈夫！わたしたちは知ってるよ！ 【発表者】伊久間夢愛氏・荻原杏氏・佐藤綾花氏	⑤前回の集会からの進展・オレンジカフェ（認知症カフェ） 【発表者】米山兼敏氏	⑥前回の集会からの進展・薬剤師さんの関わり 【発表者】井澤隆氏
43	子どものころから福祉に関心を持つことは大事なことです。		
45	小学生が認知症の学習をしていただけることはいいことだと思い、うれしかった。		
46	認知症は悪い病気ではない。		
48	認知症の現状を知り、早期に気付くのは家族であり、早期対応も可能になるこのような取り組みは今後必要となってくる。小学生の今後に期待します。	今後お願いしたいと思います。	もっと周知徹底が必要と思います。
49	小学生のうちからよい学習ができていると思います。		
51	最近自分がもうすぐ認知症になるかとおびえています。このままなったら困ると思いつつ避けられない事に不安を覚えます。		
52	若い年齢層にも理解を得ることは大事なことだと思う。		
53	家族に認知症の方がいらっしゃる家庭では、支えるだけで大変だと思います。		
56	子どもの時からこんな学習をしてくれて頼もしい。障がい者の皆さまのことも学習する時間を作ってもらえるといい。	よくわかった。	よくわかった。

問10 基調説明、事例発表、地域福祉時事報告の感想をお書きください。④・⑤・⑥

No	④「認知症」忘れても大丈夫！わたしたちは知ってるよ！ 【発表者】伊久間夢愛氏・荻原杏氏・佐藤綾花氏	⑤前回の集会からの進展・オレンジカフェ（認知症カフェ） 【発表者】米山兼敏氏	⑥前回の集会からの進展・薬剤師さんの関わり 【発表者】井澤隆氏
57	小6年生の話を聞いて、とても優しい気持ちになった。このまま理解を深めていって、幸せにつなげてほしい。	シンプルに理解できた。	直近の状況が分かり良かった。
58	これからも子どもたちからの教育（知ること体験などから）を望む		
59	認知症という言葉聞いたことが無い人は怖いという印象を最初は持っていたも、学校内の勉強の一環として学ぶ機会を持つことで、色々と学びを得るということを感じた。	オレンジカフェを開所することで、一人で抱えていた悩みなど、話すことができていいのではないかと感じた。	一人ひとりに合わせた対処法を考えて、きちんと服薬してもらえるようになることはとてもよいことだと感じた。
60	素直な感想		
62	小学生のころから勉強してくれて、とてもうれしく思いました。		
64	感受性の豊かな時期に知識、経験をたくさんしてほしいです。		
69	子どものうちから知っておくことは大切な事ですね。		
70	認知症講演の趣旨を完全に理解されていて頼もしい		分かりやすい。知らなかった。
71	この年代くらいの子どものに、認知症の人に会う体験をしてもらう事はとても意味のあることだと思った。	私としては動きが遅いと思うが、一歩ずつでも前進していくのは評価できる。	私は薬を飲むのは精神的苦痛ですが、飲むこと自体に不自由はない。そういう人がいるということに驚いた。

問11 ①今後、あなた自身はどんな半径数メートルの世界(身近な地域)を作っていきたいですか？

②①のような世界を作るために、あなた自身として、また地域としてできること、必要だと思うことは何ですか？

●その他

No	①今後、あなた自身はどんな半径数メートルの世界(身近な地域)を作っていきたいですか？	②①のような世界を作るために、あなた自身として、また地域としてできること、必要だと思うことは何ですか？	その他・ご意見・ご感想、本日の集会の運営に関するご意見等何でもご記入ください。
1	色々と集まりに積極的に出席して、人とのかかわり、つながりを築いていきたい。	積極的に声かけをする。	新しい出会いができて、また新しい地域でのつながりができると思う。
2	誰ともニコニコ言葉を交わす。神社や会所のそうじの際には車に乗せてあげているが、今後もずっと。お互いに近所を大切にということを日常の中で確かめ合う生活をする。	まず、この様な集会を持つ事。考える機会になるから。ありがたい集会です。	とても良い会でした。時間もだいたいよかったです。「支え愛」良い字ですね。
3	周りの人々についてよく知る、思いやりを持つ。→挨拶、自分自身の意識を変える。		話し合いで出た事 ●ごみの分別が難しい(高齢者にとって) ●後継者問題 ●新たな居住者が入ってきている ●高齢者と子ども(働きに出る壮年者) ●何かしらの関わりを持つ 時代の変化→システムを維持できるか？ あまり耳にすることのない地域課題について知ることができました。面白かったです。ありがとうございました。
4	遅まきながら自治会に入る予定です(4月から)そして自治会の関係だけでなく、コミカフェ等流動的な広域での行事、学習会など広く体験する必要がある。	●ご近所づきあいにもっと積極的になる。 ●町単位、あるいは広域での行事・学習会など広く体験する必要がある	●新しく美しい公民館で気持ち良く集会に参加できた。 ●ほぼスケジュールに沿ってできて素晴らしかった。 ●全体の流れ(売店も含めて)がよく整理されていた。 ●全体的にGOOD お疲れ様でした
5	お互いに支え合える地域(一人ではいきいきと社会人として生活することはできない)	●地域の中に居場所や出番を創る…子どもから老人までーそして障がいのある人も ●あいさつ、声かけ	
8	女性が輝くことが、周りが輝くと思う、頑張りたいと思う。自治会でお茶のみ会を作りたいなー		

問11 ①今後、あなた自身はどんな半径数メートルの世界(身近な地域)を作っていきたいですか？

②①のような世界を作るために、あなた自身として、また地域としてできること、必要だと思うことは何ですか？

●その他

No	①今後、あなた自身はどんな半径数メートルの世界(身近な地域)を作っていきたいですか？	②①のような世界を作るために、あなた自身として、また地域としてできること、必要だと思うことは何ですか？	その他・ご意見・ご感想、本日の集会の運営に関するご意見等何でもご記入ください。
9	日頃のお付き合いを大切にするとところから始めて、温かい信頼関係が作って行けたらと思います。	●外へ出ること ●周りの人に関心を持つ事 ●時間に少しゆとりを持つ事	工夫され、気配りされていて良かったです。福祉が身近になってきました。
10	困った時に助け合える関係を築きたいと思いますが、大事なのは日常の積み重ねだと思うので、良いお付き合いを心がけたいです。	あまり踏み込みすぎるのもよくないと思いますが、知ること、理解することから始まるのかと思います。	
11	自分買い物に行っている時などに時々高齢者の方で一人で困っている方、自分が行きたい場所に行けなくて困っている方、欲しいものが高いいところにあって取ることができない方を見かけることがあるので「どうされましたか？困っている事はありませんか？」等と声をかけられるように心がけていきたいです。	高齢の方のすることを知ること	●グループで話し合ったことを最後に報告を聞くことができたのでよかった ●グループで話し合った中で、地域の方がどのように暮らしをしているのかを聞くことができた。また、他の職場の方の話を聞くことができたのでよかったと思いました。
12	気楽に話したり、悩みが相談できるような人がたくさん身近にいるといいなと思います。	消防隊に参加したり、地域の友達を大事にすることが今できることだと思います。	
14	挨拶？		
15	人口減。自治会をどう維持するか。合併？	話し合い	
16	日頃からの近所さんとの声かけ。お年寄りの方でゴミステーションまで持って行けない人に声をかけて持って行ってあげる。		
18	近くの方と互いに助け合う	始めたばかりですが、近くの方々とお茶のみ会を2か月に1回	とても分かりやすく、考えさせられました。これからも考えていきます。

問11 ①今後、あなた自身はどんな半径数メートルの世界(身近な地域)を作っていきたいですか？

②①のような世界を作るために、あなた自身として、また地域としてできること、必要だと思うことは何ですか？

●その他

No	①今後、あなた自身はどんな半径数メートルの世界(身近な地域)を作っていきたいですか？	②①のような世界を作るために、あなた自身として、また地域としてできること、必要だと思うことは何ですか？	その他・ご意見・ご感想、本日の集会の運営に関するご意見等何でもご記入ください。
19			思い切って出席してよかったです。
21	身近なところから回数を増やしたい。		
22	この1月から組合内の女性でお茶会を始めた。隣り合って住んでいても普段はほとんど話をする機会が無い。気持ちの上では疎遠ということはないが、実際は忙しい生活の中で組合の遠足や、自治会のスポーツなどの集まりの時に会う。偶然に会う。時間をとって話すことが殆どない日々で、自分も70を越えて近々下足腰も弱ってくることを考えると意識的に身近でお互いのことを知り合う機会を作っていかなないと寂しい将来になる。お茶会はその手段になると期待しています。		
24	顔を見たら挨拶をして、そこから話の輪ができる地域になればと思う。		
25	気楽にお茶に寄っていただける家にしたいと思いました。	高齢になっても頼ることができる近所づきあいをするには、まず自分から積極的にお手伝い(働きかけ)をしなければと思います。	
26	高齢社会の立ち向かいを考えながら、研究・研修を行ってほしい。	ボランティア活動については古い活動のグループが多いが、軽い短期でも参加できたらと思う。グループが必要と感じた。	色々な意見が出た。その中にご老人のごみ出しの問題が特に話し合いの対象になり、多くの意見が出た。
27	私達の隣組は18件あり、仲良く暮らしています。「身近な地域づくり」はあまり意識していませんが、これが「半径数メートル」の世界と思います。	今のままの組合でよい。気を付けることは、 1. 仕事上の役割でいばらない事 2. 自慢話をしない 3. 人の話をよく聞くこと	1. 何でも話し合える地域づくりが大切 2. アンサンブル会の発表で、障がいのある人もない人も当然「転勤」がある…これは画期的な発想で感銘しました。 3. 小学校6年生の発表について小学校のころからこういった問題に接することが大事と思う。継続して接する場を設けていきたい

問11 ①今後、あなた自身はどんな半径数メートルの世界(身近な地域)を作っていきたいですか？

②①のような世界を作るために、あなた自身として、また地域としてできること、必要だと思うことは何ですか？

●その他

No	①今後、あなた自身はどんな半径数メートルの世界(身近な地域)を作っていきたいですか？	②①のような世界を作るために、あなた自身として、また地域としてできること、必要だと思うことは何ですか？	その他・ご意見・ご感想、本日の集会の運営に関するご意見等何でもご記入ください。
29		●気兼ねなく話せる場でありたい。 ●気兼ねなく話ができる人、聞きとめる人でありたい。	大変ご苦労様でした。「半径数メートルの世界」寸劇の光景は、ひと昔のようで今は自分の周りを見てもなくなってきている気がします。この寸劇こそが今大切な半径数メートルの世界だと思います。
30	アンサンブル小椋さんの発表の中にもありましたが、“決してうるさくない態度”で関わるのが大切ではないかと思えます。	区会や自治会の加入を増加させていくことも一つの手段と考えます。その為の会費の見直しや、しばりの見直しをすることで少しでも加入者が増えるのなら必要かと思えます。	
31	社協くらいまで(大きすぎる?)	人間に関心を持ちたい。	
33	隣近所まずは「どうしてる? 元気?」という声掛けから始めて、高齢者一人または二人世帯には「困ってることない?」と聞くところからつながりを作っていきたいと思えます。	忙しいと言っていないで、まずは目の前のお家、隣の人ともっと積極的に話をしていくところから始めたいと思えます。	
34	山間地の中で、高齢化も進んでいるが、声を掛け合ったり助け合って暮らしているので、このまま続けていければいいと思う。		
35	自分が困った時、家族のことを相談できる近所作りは、今からしておく必要がある。忙しいけど、できるだけ活動に参加していきたいと思う。		
36			●話し合いの時間が短い ●ホールで6組は話が聞き取れない。
37	自分の生活を見直し、正して、近所の方へも支援できたらと思う。	個人同士では難しいが、地域をきれいにしていく活動を少しずつやっていきたい。	途中からの参加でしたが、スムーズに運営され、成果が大きかったと思います。

問11 ①今後、あなた自身はどんな半径数メートルの世界(身近な地域)を作っていきたいですか？

②①のような世界を作るために、あなた自身として、また地域としてできること、必要だと思うことは何ですか？

●その他

No	①今後、あなた自身はどんな半径数メートルの世界(身近な地域)を作っていきたいですか？	②①のような世界を作るために、あなた自身として、また地域としてできること、必要だと思うことは何ですか？	その他・ご意見・ご感想、本日の集会の運営に関するご意見等何でもご記入ください。
40		今のうちから、つるさんかめさんのような関係を作れるように生活していこうと思います。とりあえずできること、挨拶から始めます。	城山の老人施設でやっているコミュニティカフェ。お年寄りが2階の広場まで上がるのが大変、そして寒くてしょうがない！という話が良く聞かれます。「えみりあ」という立派な建物ができたので、ここをコミカフェの方たちで使用していただくのはどうですか？寒いので行くのが嫌だという方が多いです。
41	近所の方との声かけを(困ったことができる前から)できる関係を作っていく。信頼できる関係を作りたい。	顔を合わせる機会を作る。お互いの距離感が大切だと思う。	
42	地元を大事にすることを考えたい。	ボランティアに参加したい。現在行っている事からもう一歩進めて何かできればと思う。	
45	身近な隣組の交流を大切にしていきたい。	あたたかい形で近所の方と多く関わっていきたい。	小グループの話し合い、とても良かった。意見が出やすかった。
46		地域の行事にはすべて参加し顔見知りになり、話をする。	
48	近隣の方と声をかけることから始めたいと思う。	自分自身の意識改革から。地域住民も同様。	この様な集会に参加される方は、常日頃から積極的に活動している方だと思う。集会に参加しない方、意識の低い方をどのようにしていくかが課題ではないかと思う。
49		60代後半～70代の人々の活躍が大切になってくると思う。	

問11 ①今後、あなた自身はどんな半径数メートルの世界(身近な地域)を作っていきたいですか？

②①のような世界を作るために、あなた自身として、また地域としてできること、必要だと思うことは何ですか？

●その他

No	①今後、あなた自身はどんな半径数メートルの世界(身近な地域)を作っていきたいですか？	②①のような世界を作るために、あなた自身として、また地域としてできること、必要だと思うことは何ですか？	その他・ご意見・ご感想、本日の集会の運営に関するご意見等何でもご記入ください。
51	不便ですが、気楽に生活しています。支え合うしかないと思っているので、成行きに任せます。集まるとまとまっている所なのでありがたいですが、災害の心配、雪かき等、通勤の心配等。	たくさんあります。ごみ・雪かき・いろいろに参加・清掃・参加した時に支える・人の話に耳を傾ける	●年々内容も濃いものになっている。それだけ関心もあると思うし、問題も多くなっていると思う。こういう話し合いに参加すると、出て良かったと思える。自分の所は、サロンとか出るのが当たり前となっている。「いやだ」とかじゃなく、当たり前だと思う。隣近所声を掛け合うことの大切さ。 ●ごみの問題、奥の深いことづくしく感じました。
53	常日頃のご近所との関わり方、接し方いつでも助け合って行ける環境づくり	ご近所とのつながりを強くしていく。特に高齢者・一人暮らしの方の見守りをする。	初めて参加させてもらいましたが、勉強になったこと、またこれから考えていかなくはならないこと、大変ありました。
55			義父ガン、保健師(近所)タンを取るのは大変。その一言で気持ちが楽になった。人と人との関係大切。安心して暮らしていけるために。それを話し合う。
56	身近な人達となるべく会い、話をするよう努める。	忙しい世の中になって、集まる機会を作ることが大変になってきたが、時々集って話す機会を作るようにする。	話し合いの時の席の作り方にもう一工夫が必要。4つの机を2列にしたが、細長くて、奥の人達の顔も見にくく、声も聞きずらかった。
57	時代の流れというものを意識しながら、心と血の通った地域を形成していきたい。	主体となり取り組むこと、客体として協力することを使い分け、思慮分別のある取り組みをしたい。	午前中と昼過ぎまでの充実した日程であった。
58	しゃべったり食べたりだけの会でもよい。その中に自分を置くことで、ストレスが発散される。今も身近に良くしゃべる会を自ら進んで参加している。	本日は福祉推進委員として出席したが、毎年出ているが、自分自身の問題として、置き換えて考え、生活しようとしています。	その折々の問題点をまとめ、集会にまで持って行くことの大変さを考えると頭が下がります。半径数メートルの世界を今一度周りを見ながら生活していくことの大切さを痛感しています。

問11 ①今後、あなた自身はどんな半径数メートルの世界(身近な地域)を作っていきたいですか？

②①のような世界を作るために、あなた自身として、また地域としてできること、必要だと思うことは何ですか？

●その他

No	①今後、あなた自身はどんな半径数メートルの世界(身近な地域)を作っていきたいですか？	②①のような世界を作るために、あなた自身として、また地域としてできること、必要だと思うことは何ですか？	その他・ご意見・ご感想、本日の集会の運営に関するご意見等何でもご記入ください。
59	●困っている時にいつでも声をかけ合うことのできる地域を作っていきたい。 ●一人暮らしの高齢者同士が気軽にお茶を飲んだりしながら話することのできる地域を作っていきたい。	●自分の住んでいる地域にどのくらい一人ぐらしの高齢者がいるのか知ると自分の顔を知ってもらう意味でも差支えなければ1件1件訪問して挨拶をする。 ●困っている人がいたら積極的に声をかける。	
61	切り離せない生活になっています。	声がけ	
64		顔を見たら、挨拶、声掛けをする。	半径数メートルのお付き合いは大事なことで認識しています。そのうえで家族のつながりはどうなっているのでしょうか。親子別居、二世帯等々で親の面倒を子どもたちが支える時代は昔話になってしまったのはなぜでしょう。子どもに世話をかけたくないという親の思いが行政に背負っている気がするのです。空家問題、限界集落もその「付け」ではないかなー
65	地域関係が希薄になっている中、特に若い世代は自治会に未加入であったり、同居していても親世代に地域のことはすべて任せて…という家庭が増えていると思います。顔を合わせ話をするだけでも大事なことでと思います。いきなりすぐに何かをしてみようというのはなかなか難しいと思いますが、まずは自分の隣近所の方々と日々の中で交流すること、接すること、その中で自然に自分ができることが見つかるかと思います。	今回初めて参加させていただき、福祉といっても様々な分野、多岐にわたることに改めて気づかされました。そしてそれらを支える活動をされている方々、団体が様々な所で取り組みをされている事、何よりその活動を継続していかれていること。継続していくには次の世代へ引き継いでいくことが必要かと思っています。若い世代の人達にもっと知ってもらえる事が必要かと感じました。	
69	困った時助けあえるといいと思います。		
70	①家の周りの半径数メートルの世界と②自分がいる周りの数メートルの世界がある。家の周りではいつもきれいにしておく。①②に共通して、行きあった人には挨拶をする。	相手の立場を自分に置き換えてみて、自分だったらどうだ、どうされたい、と常に意識することから始める。	生活支援協議体を見据えて、町内事業所に直接案内を出してはどうか。交番、郵便局、タクシー、宅配、コンビニ、商工会、JA などなど…

問11 ①今後、あなた自身はどんな半径数メートルの世界(身近な地域)を作っていきたいですか？

②①のような世界を作るために、あなた自身として、また地域としてできること、必要だと思うことは何ですか？

●その他

No	①今後、あなた自身はどんな半径数メートルの世界(身近な地域)を作っていきたいですか？	②①のような世界を作るために、あなた自身として、また地域としてできること、必要だと思うことは何ですか？	その他・ご意見・ご感想、本日の集会の運営に関するご意見等何でもご記入ください。
71	今行っている地活センターやヘルパーさんに来てもらっている社協さんとのつながりをもっと強くしていきたい。地域の自治会にはあまり期待していない。	地活センターと紙ふうせんに行くのを使い分けること。 (紙ふうせんで午前中働いて「これで今日の仕事は終わった。あとは地活センターでくつろごう」と思ったり、逆に「今日は地活センターでストレスを落とせた。明日は紙ふうせんで頑張って仕事をしよう」と思えるようにすること。	●会場が思っていたより広くなかった。(特に奥行) ●今年のテーマは去年より分かりづらいついていたのでどのくらいの人か心配していたが、どのくらいの人であったのか ●グループでの話し合いで、司会者が「自己紹介と今日の発表で感じたことを言って下さい」と言った。私は最初であったので、所属と名前と一番心に残ったことと一言述べた。自己紹介は早く済ませて、後は発表にそってじっくり話すんだろうと思っていた。ところが、私の後に自己紹介した人たちが皆感じたことをかなり時間を使って話すので、結局自己紹介で一周しただけで終わってしまった。そうだったらもっと話したいことはあったのに。 ●グループでの話し合いで、何のかけんか分からないが、人の声が非常に聞き取りにくかった。(1番端だったからかもしれないが)

第35回福祉を考える集会（29.2.18開催）
小グループ別話し合いのまとめ

第1グループ

【参加者】 9名

【内 訳】 民生委員 1名・福祉推進委員 1名・町議会関係 1名・一般 2名
役場関係 1名・社協関係 3名

- ・ご主人を亡くされて、これからどう生活していこうか 1人で悩んでいた時に社協の人が話を聞きに来てくれたことがすごくうれしかった。

今はコミカフェに参加している。毎回参加することがとても楽しみ。コミカフェやサロンに近所の人や友達に会って、楽しいことや自分が困っていることを話せる場所でもありがたい良い場所。でも、中にはサロンに参加してほしいけど、サロンや近所の集まりが嫌いで外に出たがらない人がいるので残念だと思う。

サロン、コミカフェには、毎回送迎してもらって参加させてもらっている。毎回送迎してもらって気兼ねではあるけれど、とてもありがたく利用させてもらっている。

出張デイに参加してみたいという人がいるけれど、そういう人はどこに相談すればいいの？サロンやコミカフェに今は参加できているけど、今できることができなくなった時は、ひまわり荘やコスモスとかの利用はできるの？周りの人で、ひまわり荘やコスモスに行く衆もおるもんで、どこに聞けばいいかなあ？

- ・サロン、コミカフェに参加してもらっている方は多いが、中には遠慮して参加していない人もいる。

男性の方ではっきりとした目的（健康についての学習など）があれば、参加しやすい傾向がある。

■自治会、ごみ捨てについて

- ・高齢になって自治会から抜けてしまっている方がいる。

長年自治会に参加してくれていたからこそ知恵を貸してほしいと思うことがある。

自治会に参加している75歳以上の方からは会費をもらわないとか、色々な役をしてもらわなくてもいいように免除してほしいところがある。

松川町の自治会の中では、道づくりの会費を75歳以上の人の所からはもらっていないところもある。

ゴミ捨ては自治会でゴミを出すルールが違う。

ヘルパーが高齢の方に代わってゴミ出しを行っている。

■地域での取り組み

- ・自分が住んでいる所は 70 歳代の人が多い。小学生の人数は少なくなっている。
公園のトイレや駐車場の整備をしたことで、地域のつながりが良くなっていった。つながりが良くなったことで、お祭りに向けて楽しくやっていけるように準備をしている。
今、地区ではイベントを考えて、より良い地域にするために、いろいろ考えてやっている。自分が住んでいる所に人が集まってもらえることはすごくうれしいこと。

■小学生の認知症についての学び

- ・小学校のころから認知症について学習してもらえることはいいことだと思った。認知症を全然知らなかった子どもさん、自分の家族に重ねてお話を聞いた子どもさん、どのお子さんも真剣に認知症について学び、今後認知症の方にどう関わっていきたいかと考えてくれたことは素晴らしいことだと思う。これからも認知症についての学びを続けていってほしいと思う。

第2グループ

【参加者】 10 名

【内 訳】 民生委員 2 名・福祉推進委員 3 名・社協関係 2 名・
ボランティア関係 1 名・福祉事業所関係 2 名

参加者中 町外者 1 名、都会から移住 2 名、飯田市から転居 1 名、町内転居 2 名

意見シート 問 5～問 9 の自分の回答をもとに個々の思いを出し合いました。

- ・自治会や組合にはある程度協力できて付き合いもあり、地域の中に居場所があり安心感がある。
子供たちの次世代に関係を引き継ぐことができる。
でも今自治会では、今まで自分等を支えてくれて来た方が高齢になり、退会される方が増えていることが問題になっている。親しくしていても自治会を抜けると、それだけ付き合いが減るような気がします。
- ・東京に 30 年神奈川で 20 年働き、老後はのんびり田舎で暮らそうと転居して来た。
ところが来た早々に自治会に入るように言われ、入れば行事がたくさんで大変。最近
は少し慣れたが、都会から来ると付き合いが苦痛だった。慣れない内に役が回って来

たりして、少し反感も感じた。

- ・うちの自治会は新しい方には役を回すのは遅らせている。
- ・うちの自治会は高齢化して、ほとんど行事がなく自治会の総会に出るくらい。気楽だがどっちが良いかわからない。家にこもりがちになっている。
- ・自治会に入っていないと情報が少なく、恩恵があまりない気がする。
- ・高齢になったら役は免除するとか、新しく加入した方は役の順番を遅くしたり、自治会の中でもっとゆるく考えたらどうか。
- ・この頃の地震や災害の時を考えると、自治会の支え合いはやっぱり必要と思う。
- ・隣の方にシニア大学があることを教えてもらい、参加して楽しんでいる。今になると付き合いがありがたいと思えてくる。自治会も役の免除など工夫が必要と思う。
- ・自治会や地域のつながりと、隣近所の付き合いとの関係が少し別な気がする。一人ぐらしで東京から引っ越して来たとき、紹介してくれた近所の方に、自治会に入らなくても良いと言われ有難かった。しばらく落ち着いてから必要と思い加入した。
- ・寸劇の通りの生田から引っ越して、最初のころは馴染めなくて差しさわりのない程度の付き合いで、2軒隣の家は名前が分からないくらいだったが、60代になってネットワークというか、同年代のつながりが必要と思うようになった。
- ・双方の親を見ることを条件に結婚し、今は自身の親の面倒を見る為に一家で引っ越して来たが、移ってきた時から主人には自治会の色々な役が10年間続き、耐え切れずに自治会は父だけ加入している形になっている。でも今年は組長と福祉推進委員をやっており、どっちつかずの今の立ち位置に混乱している。
- ・豊丘の古くからの自治会なので、加入していることがあたりまえで、出るとか入らないは話題にも上がらない。ただ10年後には動ける男性は3人になりそうで、寺や神社も含めて役はたくさんあるが、やる人が足りないことになる。高齢になり過ぎて顔も見ることがなく状況がわからない人もいる。昔からの地域なりの堅苦しさもあり、高齢の一人ぐらしになってもなかなか免除をと言い出せない状況がある。
- ・母は近所に2軒お茶を飲みに行く家があって、姿が見えない時も安心していられたが、今は隣近所でも私語がなくなって回覧も黙って状差しに入れるくらいになった。家族構成も変わると付き合いも変わるように、色々な状況があって今日に至っていると思う。今は家庭や年齢によっても食べる物が違って、野菜のおすそわけも迷惑でないかと躊躇する。
- ・社協では今年度の福祉懇談会で出されたゴミ出しの問題を取り上げ、ボランティアやご近所の支援をお願いしながら、常時出すことができるゴミステーションの設置を計画している。ただ、あまり支援体制を整えると、家族のかかわりや協力が薄くなることも心配される。
- ・バランスが必要と思う。一人暮らししていると安否確認をしてくれるとうれしい。一人ひとりが持つ色々な思いを基に、問題意識を持って話し合い共有できる場が必要と思

う。

- ・かえって家族では対応できない問題もあると思うし…。
- ・都会から越して来られた方は、今はどんな様子ですか？
- ・隣近所から教えてもらい、趣味などの仲間が出来て居場所ができた。時間と慣れが解決するところがある。
- ・生田の事例の皆さんは集まれる場があり、介護保険が始まる前から学習会も行なっていたと聞いている。自治会などの大きな円と隣近所の小さな円で重層的に支え合うことが大事と思う。
- ・移住された方々の意見も貴重だと思います。色々な思いを話し合い取り入れることが、住み良い町づくりにつながると思います。

第3グループ

【参加者】 10名

【内 訳】 一般 4名・社協関係 2名・その他 4名

■身近な生活課題

① ゴミ出しについて

- ・空きビン収集が、毎月無いため、重くなってしまっていて出すのが大変。
⇒2,3本溜まったら出すようにしている。
⇒袋代が勿体無いという意見聞かれる。
- ・分別をやっている所を見て、綺麗にして出してあげないと気の毒だと感じ、綺麗にして出している
- ・渡っている間に信号が変わってしまったりして、出すのが大変。

② 交通手段について

- ・免許を返納して、交通手段が無く、ゲートボールへの行き来が大変。
⇒町の福祉バスがある事を知り、バスを片道だけでも利用しようと思った。
- ・福祉バスに関心が無かったが、交通手段が無くなってからは、とてもありがたく感じている。(自分がそういう状況になってからは特に)

③ その他

- ・自治会費、組合費を払わなければならないため、辞めざるをえない。
- ・夜の会合が大変。

■事例発表より

小学生のうちから、認知症について理解してもらえるのは、とてもありがたい。

嬉しくて、涙が出そうになった。

■半径数メートルの世界（身近な地域）を作るために、出来ること、必要な事

- ・松川町の交流会でお互いの話や悩みを聞けるため、とても良い。
- ・自治会の人が、よく声を掛けてくれてありがたい。
- ・交通手段がないと知ってもらえているからこそ、声を掛けてもらえるようになり、良かった。
- ・月に一度のお茶飲み場でもとても大切。
- ・一人ぐらしの人は、隣近所の付き合いがすごく大切である。
- ・組合、自治会が大事。
- ・家に認知症の人が居ると組合の人に言っておいた為、助かった。
⇒家に認知症の人が居るという事は、言われたい限り分からない。
- ・組合の人に助けてもらったからこそ、組合を大切に生きていきたい。
- ・一人ぐらしの人の話こそ、聞いてあげることが必要。
- ・組合、自治会に若い人に入ってもらって、若い内に出来ることをやってもらって、年をとったら免除してもらえる所はしてもらって、続けていくことが大切。
- ・催し物をやる等しないと、地域は活性化していかない。
- ・小さな事でも「自治会で解決していかないと」と、感じる。
- ・声を掛け合って、話をするのが大切。
- ・新しい事が始まる時には、それを周知してもらうために、サポートをする事が必要。

■その他

- ・交通手段がなく、社協のバス送迎が嬉しかった。（福祉バスの時間が合わなかった為）
- ・サークルが高齢化しており、入ってくる人もいないため、無くなりつつある。
- ・近年は「自分達さえ…」という考えがある。

第4グループ

【参加者】 11名

【内 訳】 福祉推進委員 1名・町議会関係 1名・一般 3名・役場関係 3名・ボランティア関係 1名・福祉事業所関係 1名・その他 1名

進行例通りには行わず、暮らしやすい地域とは何か、自分が感じる近所づきあい、各自治会の現状等について思うままに意見を出していただいた。

- ・名子地区、以前は 40 戸程であったが現在は 80 戸にまで増えている。戸数が増えることは嬉しいが、自治会入会数は、1/3 程度である。
- ・70 代頃になり、若い衆に世代交代すると、ピタリと自治会に顔を出さなくなる。(行事はもちろん総会及びサロンにも参加しなくなる)
- ・上記に示す通り、今年 40 戸転入してくれてきたが、そのうち 14 戸しか自治会に入らなかったのが現状。育成会は育成会で開催している。自治会に入らなくても広報は町に取りに行けばいいし、ごみはお金を出せばいいため、入会しなくても何ら問題はない。
- ・昔からの自治会は災害時の対応等も独自で集約しているが、新しい自治会はどうしているのか…。普段は良くて災害時というのはパニックにもなりやすく、今後とても重要な部分であると感じる。
- ・例えば民生委員が情報を持っていたとしても、個人情報と言って、自治会に降りてこない場合もあり、各々の集約はむずかしい。
- ・上片桐大沢北部地区、3 年前の大雪時にみんなで協力して孤立する自宅が無いようにと、何とか雪かきを行った。町でやれ！という声は上がるが、町だってやりきれないのが現実だと思う。やっぱり近隣や自治会のつながりが重要だと感じる。
- ・副町長の話の中で、新潟にある町の自治会加入率 100%の話があったが、松川町は 80%と聞いた。新潟のその町では加入が当たり前となっている事もあるが、例えばアパート暮らしであった場合でも大家が率先して加入を促しているとのこと。町の祭りや行事にはお子さんからお年寄りまで皆の参加があるようだ。素晴らしい話だ。
- ・現代の若者は形態や SNS でコミュニケーションを図っているようだが、顔の見えない閉鎖的な関係に怖さを感じるし、何か事が起きた場合の協力体制等は取れないのが現実。
- ・高齢世帯の脱会の後の支援を考えていくことが何より重要な課題である。1 番支えていかなければならない人たちをどうみていくのか。町もすべての住民を把握することはできないはず。
- ・コミュニティカフェがすごくいいと聞いている。しかしあの階段が…。どこかいい会場はないのか。
- ・80 歳、90 歳になってから何かできるわけではない。60 代の今からできること、予防、近所とのかかわりを密にしていきたい。
- ・サロンの大切さは、自身の今後や将来を見据えるうえでもとても重要であり、何より勉強や介護等の知識が身に付くと思う。また、人と顔を合わせ会話をすることで気分転換にもつながる。
- ・サロンを作ったらいいと話が上がるが、誰しも頭“先頭”になることが嫌である。福祉推進委員の活躍が期待されるところ。
- ・多少おせっかいでも、声かけが何より大切と考える。
- ・自治会存続や維持のためには、老若男女皆が一つになって活動を行うのが理想ではあるが、正直難しい。世代ごとの集まりの強化が重要である。今ある夜間ソフトや、消防、

婦人会等の充実が大切になってくる。

- ・町で行っている災害時リーダー育成のように福祉版リーダーの育成が必要かと思う。その際、役を付けるという意味ではない。

第5グループ

【参加者】 13名

【内 訳】 民生委員 1名・福祉推進委員 1名・町議会関係 1名・一般 5名
社協関係 1名・ボランティア関係 3名・医療関係 1名

自己紹介を兼ねながら、自由に思いを話すといった形で、話し合いが行われました。

- ・アンサンブル小椋さんのお話で、子どもに障がい者が生まれても不幸ではないと思った。
- ・一人暮らしになって、身につまされた。身近に迫った問題。
- ・歳をとり、だんだんに身体機能も低下してきた。これも障がい。
- ・生田での生活を知り、相手を尊重する気持ちが大切だと思った。あまり親しくして入りびたりになってしまうことは良くないようにも感じるころもある。適度な距離も必要かなー。と思った。
- ・オレンジチームの一員として活動。100件ほどの家庭を訪問して感じた事
家族以外の関係を持っている人は強い。友人、サークルの仲間などなど。孤立していないし、助けがある。
自分のことを聞いてほしいと思っている人は多い。
- ・アンサンブルのことを知らなかった。今日出てきてよかった。多くの人と知り合いたいたいなーと思った。隣が遠い。坂道がきつい。回覧はまとめて…と思うが。
- ・バラバラに回覧が来ると、何回も近所へ行ける。運動も兼ねて。
- ・集まりに出ていくとちがった話が聞ける。
- ・片桐町を語り継ぐ…お年寄りに話を聞く集まりを始めた。一人ぐらしでこもりがちなお年寄りに、祭りのことなど話に出てきてもらうように働きかけている。
- ・隣組に不自由な子が生まれ、手助けしたいと思うが、なかなか難しい。障がいによっては話しかけるのもためられる。
歳をとるほど、自分から発信することは大事だと思った。
自治会などでも、お年寄りはいろいろ免除になるが、それも考えもので、できそうな役割を持ってもらった方が張り合いも生まれるのではないかな。
- ・近所づきあいは大事。急病の時助けてもらった。
アンサンブルの内容は知らなかったが、今日知ることができた。
- ・誘われてきた。スイートボイスのお世話になっている。目が見えない。半径数メートル

の世界もない。認知症の心配もしている。以前は買い物の際もメモが無くて大丈夫だったのに、この頃は 2 つの買い物も忘れてしまう。町の検診に認知症の検査も入れてほしい。地活センターあすなろへ行ったが、見えないと無理。庭（園庭）が広くて、伝って行きようもなく、雨が降ればぬかるんでしまう。いろいろな事に思い悩むこともあるけれど割り切る。病気も糧にする。

- ・ バリアフリーの団地に越してきて 10 年一人ぐらし。週 3 回ヘルパーに入ってもらい生活している。障がい者に生まれて不幸だと思ったことはない。他の生活を知らないから。みんなが普通に接してくれる。車の免許を取ったことが一番良かった事だと思う。出かけたくなるし、気晴らしになる。

第6グループ

【参加者】 13 名

【内 訳】 民生委員 7 名・福祉推進委員 2 名・町議会関係 1 名・一般 1 名
社協関係 1 名・ボランティア関係 1 名・

■近所の付き合いはどうですか？

- ・ 一人ぐらしや、高齢者二人ぐらしの方が自治会を継続することに経済的に負担はないか心配したが、継続を希望される人もいた。自治会活動に参加できないから会費だけでも納めて地域の一員でありたいと思う人もいた。
- ・ 福与では、高齢者に対する減免措置はあるが、全戸加入している。
- ・ 古町では、80 歳以上の方は自治会費の免除措置をしている。
- ・ 高齢者で免除の人が増え、自治会活動としては今後どうしていくか、問題点が出てきている。
- ・ 自治会によって免除については違いがある。

■ごみ出しなど、身近に困っている人はいないか？

- ・ 福与地区では、ごみ出しの問題は聞いたことが無い。困っているといってもらえばできそうなことだが、せんしょに聞いてみたことはない。
- ・ 困っていても気兼ねで言えない事もあるのではないか
- ・ 一人ぐらしで自治会を脱会している人のごみ出しは、別暮らしをしている子どもが来てしている。雪かきや災害時は、自治会に入っていないとはいえ、協力していくように自治会でも話している。

■近所の方とどんな付き合い方をしているか？

- ・ 寸劇のような風景は、すごく懐かしいことで、最近はほとんどない。「よってお茶を

- 飲んでいきな」ということもなくなった。玄関先で話をするくらいで済ませている。
- ・玄関に鍵がかかっている家が多くなり、回覧板などもポストや専用の箱に入れてくる。出会う機会が少なく、近所でも話しをすることが減っている。
 - ・長期留守をすることがあって、近所の人に心配事を頼んでおくことで、安心して出かけることができた。月1回の常会があり、日々の近所づきあいがあるから気楽に心配事を頼める関係ができていると思う。
 - ・弥久司では、自治会の集まりは年に数回で少なくなっている。
 - ・田舎でも不審者情報があり、子どもが遊びに行くと言っても玄関まで送っていく。また、県道は自転車で通ってはいけないと子どもたちは言われていて、行動範囲が少なくなっている。近所の人が出会うことが少ない。
 - ・家で作っている野菜や旅行のお土産を近所に配ったり、もらったりはあるが、煮物など家で作ったものを近所に配ることはほとんどない。
 - ・寒い時期は外に出ていることが少ないので、話す機会が減ってしまう。畑などに出ている時期は、声を掛け、話をする機会も増えるが…。
 - ・体の調子が悪いと近所の人に見られたくないと思う人もいる。
 - ・民生委員が一人暮らしの方に月1回訪問するが、警備会社に参加している人もいて、訪問時に気を使うこともある。県住の訪問対象者にも訪問するが、声をかける程度。
 - ・組合の新年会を家族全員が出るようにおこなった。花見も全体でやって楽しかったが、次につながらない。店で行事をやった方が、片づけもなく楽という意見があり、企画する役員に負担がかかってしまう。
 - ・福与であゆみ会の活動をしているが、女性の参加はあるが、男性の参加が少ない。男性が参加してもらうにはどうしたらいいか悩んでいる。
 - ・男性は何か役に立ちたい思いがあり、後の楽しみ（飲み会）やお小遣いになるようなことがあれば参加するのではないかと。役に立ちたい思いが強いため、お茶を飲んでしゃべるだけでは参加しづらい。男性は一人での参加に抵抗がある人が多い。
 - ・上片桐では、老人クラブは無くなり、気の合う人だけで集まることはある。新井と古町には高齢者クラブはあるが、役員の受け手が無く、継続に苦慮している。自治会にも差があることが分かる。

■どのように半径数メートルの世界を作っていきたいですか？

- ・父親が高齢で、車を運転し畑に行くが、時々軽い事故もあるので、免許の返納を考えている。返納してしまうと畑にも行けず、認知が進むのではないかと心配もある。
- ・コミカフェの利用者が増えている。女性の参加者が多い。麻雀は男性の参加者も半分くらいいる。
- ・定年後、自分の趣味や好きな事をしている。地域の付き合いより、個々のお付き合いで出かける機会が多くなっているのではないかと。

- ・上片桐のマレットゴルフは衰退している。
- ・遊んでいてはいけないという思いがあるのではないか。
- ・人集めに困っている。サロンの開催をするのにお茶会だけだと集まらない。コミカフェに行き、趣味のつながりで仲間づくりが進む中、サロンのような近所でのつながりが衰退している。
- ・誘い合って出るきっかけを作るようにしてはどうか。
- ・北垣外では北寿会といって、60 歳以上の人を対象の会がある。年に 2 回程の活動で、新年会には 40 人ほど集まった。男：女は 6：4 で男性の参加者も多い。北寿会には会長がいて、開催時には対象者にお知らせが来る。自治会から補助がある。
- ・コミカフェとサロンの行事で同じところへ行く予定になったり、開催日が近い日になってサロンに参加してもらえなかったことがある。重ならないように気を付けている。

■事例発表について

- ・アンサンプルに通う人たちに犬の散歩をしていると出会うことがある。最近は顔見知りになり、挨拶する程度になった。
- ・身障者の人が笑顔で会話している姿や、買い物をしている所を見ると、地域で生活が自然にできていて良いと感じる。
- ・小学生の発表から、誰もが認知症になり得る、他人事ではないことから認知症を病気としてとらえるだけではなく、どう関わるのが大切かを考えていくことが大事だと思った。
- ・認知症が心配になった時、オレンジチームを紹介したい。
- ・家族が認知症になった時、近所にも公表しておくとか、どこを歩いていたとか、畑にいたとか広い範囲で見守りができる。家族としても助かることが多く、気が楽になった。
- ・認知症は悪いイメージを与えてしまうが、子どものころから認知症の理解を深め、知ることはいいいことだと思う。
- ・日赤でファイブコグをしている。「認知症だと困る」と受けることを拒む人もいるが、受けることでそのあとの早めの対応にもつながり、認知周知の進行を遅らせることができると思う。積極的に受けるとよいのでは。
- ・小学生の発表も、女子 3 名だった。男子よりも女子の方が子供のころから元気。出たがらないのは子どもでも男子多いのかも。

第7グループ

【参加者】 12名

【内 訳】 町議会関係 1名・一般 3名・役場関係 1名・社協関係 2名
ボランティア関係 5名

一戸建てにお住まいの方々でした。

■生田の事例発表

- ・とても良かった。理想的だなと思う。
- ・一人ぐらしをしていると、心配してくれる人がいるのは安心感がある。
- ・姉妹のような方が近くにいて幸せ。
- ・男性だったらどうなんだろう（男性意見）

■みなさんの近所づきあいは？

- ・最近近所づきあいが希薄になってきていて、付き合いが無くても困らない生活になってきている。
- ・そんな中…“昔からの近所づきあいが今もある”という方も、大人になった息子さんが、調味料が足りなかったりすると、裏のお家へ借りに行ったり、漬物おいしかったともらいに行ったりする
- ・家の周り、年齢の近い人が多く、よく声を掛け合っている。「支え愛」とあったが、とても安心できる。
- ・「支え愛」とてもいいことだ。

■小学生の発表より

- ・今は授業でこういった話題の学習ができて素晴らしい。素敵な発表だった。
- ・90歳のおじいさんが、役場のキャッシュコーナーへ行って転んでしまった。すると、中学生がおじいさんに電話番号を聞いて家に電話をくれて、おばあさんが迎えに行き、大事に至らずに済んだ。小さいうちからこういう学習をしているからかな？
- ・認知症は、自分がならない、周りをならせない。

■支え愛の声掛け運動

- ・とてもいいことだと思う。まずは挨拶。
- ・松川高校が近い。いろんな子どもさんがいるが、家の近くを走ったりしている運動部の子どもさん達は、挨拶していつてくれる。
- ・旧スタンレーの跡地でアンサンブルの利用者さんが仕事をされているが、明るくいい笑顔だ。声をかけると返事をしてくれる。

■挨拶

- ・犬の散歩などの時、知らない人にも「こんにちは」「おやすみなさい」と声をかけるようにしている。ギョッとされたりすることもあるが、返事をしてくださるととても温かい気持ちになる。
- ・挨拶をしても、若い人からは何も返ってこない事もある。

■アンサンブルさんの発表

- ・知らないでいた事、親御さんたちのご苦労がとてもよくわかった。
- ・お店をやっているので買い物に来てくださるが、今日の発表の中にあったように、自分の決まったお小遣いの中でその日使える分を考えて買い物をされているのが分かる。それで、マーくんポイントがたまっていくのをとても喜んでくれる。

■ごみ出し調査

- ・自分は割とステーションに近く、そんなに不便を感じている人がいるとは気づいていなかった。
- ・生田の高齢者で、ごみを出すのに往復1時間くらいかかるという方もおられた。たくさんだと重いので、分けて運んでいると。
- ・北垣外でも「いつでも出していいよ」としてもらいたい。曜日が決まっていると困る」との声があった。
- ・それぞれのごみステーションが、各自治会で持ち出しの費用で設置されているので、自治会に加入していない人は出せなくなっている所も多い。
- ・公益費をもらっているという自治会もある。

■“自治会に加入しなくてもいい”という体制を作らない事が必要では？

- ・宗源原は、220戸程あるが、一人になったり、高齢になったと抜けてしまう人がいて、170戸程の加入となっている。いろいろできなくなってしまうたら、それこそ“助け合い”という気持ちでお互いやれないものか…。
- ・いろいろできなくなってしまうたら、それこそ“助け合い”という気持ちでお互いやれるといいが、1人2人の「でも」という声があるとそちらに負けてしまうのも事実。

■まとめ

- ・支え愛の声かけ運動
- ・まずは挨拶から 声をかけよう
- ・ボランティアをしよう 声かけもボランティア
- ・できる時1回でもいいんだよ！

- ・そして、集会の冊子を病院待ち合いや、金融機関に置いてみんなに見てもらえるようにしよう。

第8グループ

【参加者】 12名

【内 訳】 民生委員 5名・福祉推進委員 1名・町議会関係 1名・
役場関係 1名・社協関係 2名・ボランティア関係 1名・
学校関係 1名

- ・ 去年参加した。福祉懇談会ではゴミだし、近所の方に声を掛けづらかったり遠慮したりしているのがわかった。桑園中部では小さいけれど立ち話、誰がどこのおるのかは分かっている。嫁に来てまだまもないので深く入ることはできないけれど、顔を見たり話することで地域にかかわっていきたいと思ってる。
- ・ 町外に住んでる。東京が実家。地域のつながりは意識したことがない。学校に勤めてかんじたことは行事が活発で皆協力的。さらに広がるにはどうしたらいいのだろうか。
- ・ 近所は遠い。一戸建てに住んでいる。大声出しても気楽。のんびりしている。何かあったら集まりにはできるだけ参加している。おばあさんもいるし助け合いはできている。あそこの若い衆はちっとも出てこないと言われないように参加している。あの人は年をとったなあーとか感じることでわかる。
- ・ 40 戸ほどの自治会。数件しかない近所は付き合いが薄い。常日頃の密の濃いお付き合いはないが、行ったり来たりはしている。近所に高齢者で一人暮らしの方がいる。寒い時期は娘さんちへ行ってる。転倒骨折しても知らなかった。なので気づき、見守りが大切。
- ・ お年寄りのゴミだしは困難・自分も手伝いをしたが長続きはしなかった。システムにしないと解決しない。分別が細かい松川町。お年寄り判断力が落ちてくる。行政でシンプル化しなければと考えている。近所で自治会を抜けた方がいる。顔も見ないし、縁遠くなくなってしまっている。自治会をやめる人の気持ちも分かるが、抜けると疎遠になってしまう。高齢な人こそ自治会へ。話し合うきっかけを。
- ・ 町の中心地で 150 戸あり恵まれている。一人暮らしの方は多く、自治会未加入者は少ない。未加入者の連携、名簿は作成中。教員住宅、アパートがありなかなか把握できない。高齢だからという方には自治会脱会ではなく休会を進めている。今月 19 日に最後の役員会。3 月上旬に総会。自治会長、福祉推進委員など役をしてきて児童、いろいろな場面で自分の顔を知られるようになり、声掛けにつとめ働きかけている。
- ・ 一人暮らしをしていて知らないうちに施設へ入ってしまう方がいる。ケアマネージャー

に教えてもらう。宅配の弁当の意見書のいきなり記入もある。経過が分からないときもあったりした。自主防災にも力をいれている。

- ・月1回の納税集会には必ず参加している。近所つきあい、作業などである。5組合ゴミステーションは200メートルぐらいに設置しているし、車の運転もできるため今のところは不便さは感じていない。90歳でも元気である。地域包括にもお願いしたりしている。情報も入ってくる。
- ・俺には後継者がいる。任せて10年ぐらいになる。妻はサロンに参加しているが自分は引退し、身を引いている。
- ・東浦では50件全戸加入している。隣組はつきあいはできているほう。果樹を半分以上がやっている。城山にコミュニティカフェがあるけれど誰一人参加していない。働かなきゃあーの気持ちを持っているかたが多い。自分としては民生委員の役割が果たせていない。その分みんなしっかりしている。果樹講習したり、コミュニケーションはとれています。ただ後継者はいないのであと10年先は心配です。働かきゃーという気持ちが強く年配の方が張り合う気持ちが強い。
- ・調味料のやりとりもしている。質問項目に○が多くつきます。つるかめばあさんのようにやろうと思っている。昔は子どもの面倒はおばあさんがして嫁は働くのが当たり前であった。代が変わっても伝えていくことはしていきたい。嫁が勤めに行っているからだんだん薄れてきている。(縁側でお茶を飲んだり、ちょっとした会話)学校で認知症の講演を聞いていることもいいことだと思う。実際おばあちゃんといっしょに暮らしている子どもも少ないし実際に認知症の方と生活していることも少ないのでは。今日こういう集会に参加してきたということを家族に伝えていきます。
- ・うちの地区の新年会は1/1に火をたきながら2時間ほどやっています。たまたま若い世代が多いです。なんとなく話し合いは出ていますが皆勤めに出ているからお茶のみはない。いずれにせよこの仲間たちでサロンができるのかなあと思っています。

■自由な意見として

- ・ゴミだして困る人が多くなっている。行政の責任として無料の集配車を早急に取り組んでいく必要がある。生田の年配の方たちは年齢があっていても気も合う偶然が重なっている関係になったんだと感じました。
- ・アンサンブル、知的障がい者の子どもがいるけれどすべての子がいけるわけではない。親が死んだらどうなるのか心配。
- ・こういう集会に出たことで自分も積極的に出ていかなければと感じている。
- ・もう少し60代の方たちがでてきてほしい。(サロン他)
- ・新たな居住者、後継者問題が地域課題なんだと改めて知ることが出来ました。

第9グループ

【参加者】 13名

【内 訳】 町議会関係 1名・一般 2名・社協関係 3名・

ボランティア関係 3名・福祉事業所関係 1名・その他 3名

■基調説明、事例発表について

- ・アンサンブルがあることにより、松川は障がいについて発展してきた。今後は町中の人たちが一緒になってアンサンブルを育てていってほしい。そのためにも地域でアンサンブルを育てていくことが必要と感じた。
- ・アンサンブルの活動について知らなかったので今回福祉を考える集会で講演を聞いて良かった。
- ・生田の劇について文を読むだけではなく劇でやってくれたのでわかりやすくよかった。また、生田の環境がうらやましいと感じた。
- ・（生田に住んでいる方より）近所が遠いからより心配になるためこのような近所ついでいができる。
- ・近所の方で頑張りすぎる方がいたので心配。
- ・勇気をだして声をだして近所付き合いをしていきたい。また、なにげないことでも声をかけていきたい。
- ・お弁当配りをしているが、利用している方に声をかけるとみんなが嬉しそうに話をしてくれる。
- ・小学生の発表はよかった。小さいときからこのような福祉の場を見るのは大切と感じる。
- ・昔と家族形態が変わってきたので小さい頃からこのような機会をつくる必要性を感じる。そのためにも交流会を作った方がよいと感じる。
- ・認知症は病気であるため、こどものころから知っていることが必要と感じる。このような活動から、おもいやりの気持ちができ、いじめが少なくなるのではないかな。

■今後、あなた自身はどんな半径数メートルの世界（身近な地域）を作っていきたいですか？

- ・災害が起こった時は助け合うことができるか不安。昔は婦人会など毎月やっていて、日々の家の中の話などを余談も踏まえながら話していた。今は体も動けなくなって集会などに参加できなくなっているのが余計にそう感じる。
 - ・自治会に入っていない人たちとの交流ができていない。そのため、入っていない人たちはどんな暮らしをしているかもわからないでいる。
- （未加入の理由は役員が大変、お金が高い、どうやって入っていいかわからないなど理由のため。）

- ・自治会未加入者の問題は受け入れ側にも問題があると感じる。そのためにも身近な相談相手や受け入れ側もよく来てくれたという受け入れる対応が必要なのでは。

■理想の半径数メートルの世界（身近な地域）を作るためにあなた自身として、また地域としてできること、必要だと思うことは何ですか？

- ・下垣内は自治会が小さいので近所が近くまとまりやすい。
- ・なんでもいいので声かけを近所同士で行っている。また、声かけするときは相手のことを思い、声かけをしている。
- ・家にいるだけではストレスがたまってしまうので、近所の方に声かけをして話をしている。
- ・一人暮らしの方で電話番号を近所で共有しており、困ったことが起こった時は家族→近所→知り合いといった順でお願いしている。
- ・お互い無理のない気楽な関わりあいをすることが大切。
- ・困った事をみんなで集いあって会で話す。みんなで問題を共有することにより自然と話あい、心が結びついていて自然とできるため。
- ・福祉を考える集会に参加した方々が、今回の集会で取り上げた内容を地域で発信していけるといいのでは。このような会に参加できる方はいいが、参加できない方もいるので参加していない方にも話をしてほしい。
- ・課題を地域の問題として、自分たちの問題として話していったほしい。

第10グループ

【参加者】 11名

【内 訳】 民生委員 2名・福祉推進委員 1名・町議会関係 1名
役場関係 1名・社協関係 3名・ボランティア関係 2名・
福祉事業所関係 1名

■意見シート問1～問9について

- ・新井では、サロンが長く続いていてすごくいいと思う。これからも続けていくことが必要。所属（会に参加している、出かける予定がある）があるのがよい。出かける楽しみにつながっていくと思う。
- ・新井から名子に引っ越したが、地域に差があるようにも感じる。新井でも名子でも近くの方と良い関係が築けたと思う。
- ・近くにアパートがあり、転入者がある。挨拶などのつながりはある。自治会未加入者がいるが、加入のメリットを感じているかは分からない。以前雪で車が動けなくなった時、近所の人が助けてくれた。その時につながりを感じた。

■基調説明、事例発表について感じた事

- ・納税日を利用して月 1 回集まることで、自治会内のコミュニケーションがとれている。I ターンの方には、抵抗感があるかもしれないが、地域が高齢化しているので、自治会の加入は続けてもらっている。
- ・何でも話し合えるのはいいと思う。自分はまだ若いので近所づきあいは親に任せている。
- ・ボランティアを続けてきたが、年とともに体力が心配になり遠くへは行きにくくなり、近いところへ出かけている。自分もこれからも学んでいこうと思う。若い人もきっかけを作ってボランティアなどに参加してほしい。
- ・「つるさん、かめさん」のようにお互い支え合っているのは理想だと思う。ごみ出しなど困っていると思っても、どんな言葉で声掛けしたらよいのか迷ってしまう。今になってみると「納税日」が残っているのは、お互いの様子が伝えられていいなと思った。若い人との出会いが少なくなったが、できる限り近くの方とつながっていたい。
- ・サロンに参加される方を見てみると「階段を上るのが大変」「洋式トイレが無いと困る」などでかけにくくなる理由が分かる
- ・松川町は福祉について考えていると思う。豊丘村でも最近サロン、ミニデイなどが始まった。スタッフが付き添い、月 1 回のお出かけが楽しみになる。仕事を辞めてからの人間関係づくりはこれからになる。
- ・サロンなど、出てくる人は女の人が多い。男の人が外に出ないのが心配。良い方法はないか？
- ・コミカフェに体験で参加したが、男性参加者が少なかった。マレットなどあれば、参加者は増えると思う。
- ・地域のサロンの方が男性が参加しやすいと聞いている。
- ・一局集中より分散した方が参加しやすくなるのでは…。
- ・1 年くらい前から近くのご夫婦とお茶のみ会を始めた。夫たちはお茶では物足りないらしいが…。良い交流ができています。

■これから自分ができそうなこと、どんな地域にしていきたいか

- ・自分は認知症の知識がなく、対応に困ったことがあった。小学生のうちに学ぶことで、同居している祖父母の変化に早く気付けるようになればよい。認知症の対応の仕方を知っているのも大事。
- ・これからは毎年 6 年生が認知症について学ぶことが決まった。
- ・親が元気な時は行き来ができたが、年とともに足腰が悪くなると、だんだん回数が減ってきたが続けていきたい。自治会の行事などに参加して、間が空いても交流を続けたい。
- ・日曜日に働く人も増えている。育成会の行事等、集まりが悪くなっているようだ。
- ・隣の奥さんが、ご主人が亡くなったことを忘れて「主人が旅行に行ったまま帰ってこな

い」と言って探していると旦那から連絡があったので、奥さんを家まで連れて行き、仏壇の前まで行って、ご主人の写真を見せて亡くなったことを思い出してもらった。

- ・コミュニケーションは、挨拶が基本になる。まずは「こんにちは」など声掛けから始めたら。時候の挨拶、ムダ話へと進んでいけそう。
- ・80代の人達は、人とのつながりが大事とわかっていて、行動につながっているが、60代後半、70代の人達のつながりが少ないように思う。いざとなってから遅い。

■ごみ出しについて

- ・気になる人はいるが、親せきの人が手伝っているので声掛けしづらい。
 - ・町外の人、慣れない人には、分別方法など分かりにくいようだ。
 - ・豊丘では週1回なんでも出せるゴミステーションがあり助かっている。
 - ・ごみの排出、回収とも計画通りに行っていないようで、指定日以外に出してあったり、缶など量が少ないと回収されない事もある。
-
- ・税務署でのこと。赤ちゃん連れのお母さんがいて、「赤ちゃんかわいいね」と話しかけた事で、周りにいた人も赤ちゃんに声をかけ、コミュニケーションがとれた。きっかけがあれば会話は弾む様だった。